

「秋高らーめん」自宅でも食べて

インスタント販売

ドリームリンク 収益、学食運営費に



ドリームリンクが販売する秋高らーめん（左）と、学食で提供されている秋高らーめん

秋田市の秋田高校の学校食堂（学食）を運営する外食チェーンのドリームリンク（同市）が、学食で提供する「秋高らーめん」のインスタント商品を販売している。収益を学食の運営費に回す。誰でも購入できる。

商品は1人前 118グラムで、比内地鶏のうまみを生かしたスープが特徴。ドリームリンクの学食用オリジナルメニュー「秋高らーめん」と同様に、揚げ玉が入った「たぬき」ラーメンだ。

強運を象徴する動物のタヌキにあやかっているほか、「他を抜く」という意味も込められている。文武両道を目指す生徒に、あらゆる場面で先頭に立ち活躍してほしいと、縁起物として売り出している。

ドリームリンクの村上雅彦社長によると、少子化などの影響により、学食運営は採算が取れず全国各地で厳しい状況が続く。村上社長や同窓会メンバーが話し合い、秋田高学食の運営費を補填する取り組みを模索していた。

秋田高の学食は2009年、委託業者が赤字を理由に撤退。同窓会有志が「学食復活プロジェクト」を立ち上げ、寄付を募って19年に復活させた。だが、新型コロナウイルスの影響もあって新たな業者も撤退し、22年からドリームリンクが運営を担う。

村上社長は「学食は先輩と後輩が集い、コミュニケーションの場にもなる大事な空間。運営を継続するのは簡単ではないが、地域や多くの人に食べてもらい、みんなで学食を守りたい」と強調した。

学食プロジェクトの代表の佐藤裕之さん（羽後設備社長）は「コンビニで手軽に買える食べ物もあるが、学食で調理された料理を食べてもらいたい。生徒の食環境をしっかりと整えてあげるのもOBの役割」と語った。

1人前378円。注文は電話か専用サイトで。

ドリームリンク ☎018・863・9999（平日午前10時～午後5時）



申し込みフォームにつながるQRコード

（阿部拓郎）

（令和5年1月19日（木）秋田魁新聞より一部抜粋）